

市立奈良病院で脳梗塞の治療のために血栓回収療法を受けられた患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。本研究は説明方法・内容・同意の内容について記録を残すことを基本としていますが、すでに血栓が回収され病理検査が依頼された症例を対象にしているため、亡くなられた症例や時期が古い症例では連絡が困難な場合も含まれているため、これら手続きが困難な症例においては本文により同意の取得を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。本研究は奈良県立医科大学医の倫理審査委員会の承認を受け、市立奈良病院院長の許可を得ています。

研究課題名	急性期血栓回収療法により得られた血栓の病理学的検討
当院の研究責任者	所 属： 脳神経内科 責任者： 正島 良悟
他の研究機関および各施設の研究責任者	奈良県立医科大学 脳神経内科 斎藤こずえ
本研究の目的	急性期血栓回収療法（カテーテルによる脳梗塞治療）の際に回収された血栓の一部を奈良県立医科大学に送り、特殊免疫染色を行い血栓の性状を評価します。さらに臨床症状、臨床経過、画像所見、検査データとの比較検討を行い血栓症の病態解明を目的にしています。
調査データの該当期間	2010年1月から2023年3月に当院で血栓回収療法を受けられた患者様
本研究の対象及び方法（使用する試料等）	上記期間内に市立奈良病院で急性期血栓回収療法を受けられた患者様の治療時に回収され病理検査に提出された血栓及び臨床情報を研究に使用します。
試料・情報の他の機関への提供	共同研究機関の奈良県立医科大学に匿名化された試料および情報の提供を行います。
個人情報の取り扱い	得られた情報は厳重に管理され、利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報には削除し匿名化をおこなった上で情報提供致します。また研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。なお、この研究で得られたあなたの試料・情報は、将来、この研究目的・研究期間を超えて使用する可能性があります。もちろんこの場合にも同様に個人情報は保護されます。本研究の目的と直接関連しない研究に使用する場合には、新たな実施計画書を作成の上、倫理審査委員会の承認を得た上で進めます。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	市立奈良病院 脳神経内科 T E L：0742-24-1251 担当者： 正島 良悟
備 考	特記事項はありません。